



2018

スズキ CSR・環境レポート

社会に貢献し、世界中で愛され、
信頼されるスズキを目指して

スズキ CSR・環境レポート 2018 目次

はじめに

トップメッセージ	3
----------	---

企業理念	4
CSR方針	6

環境への取り組み

環境全般	11
設計・開発・調達	29

生産・オフィスの取り組み	47
輸送	57
販売会社の取り組み	59

CSRの取り組み

品質への取り組み	64
お客様とともに	65
お取引先様とともに	73
従業員とともに	75
株主・投資家の皆様とともに	83

地域社会とともに	88
国内工場・技術センターの取り組み	96
国内販売代理店の取り組み	103
海外グループ会社の取り組み	106
スズキの財団活動等	115

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス	119
-------------	-----

コンプライアンス体制・リスク管理体制	123
--------------------	-----

データ集

会社概要	130
環境データ	132

環境取り組みの歴史	145
会社データ	147

ガイドライン対照表

GRIガイドライン(スタンダード版)対照表	149
-----------------------	-----

編集方針

本レポートについて

「スズキCSR・環境レポート2018」は、スズキグループのCSR・環境に関する様々な取り組みについて紹介しています。ステークホルダーの皆様へ、当社の取り組みをより深くご理解いただくことを目指し、本年度は開示項目をさらに拡充しました。

ウェブサイトのご案内

スズキ企業サイトでは、本レポートの全ての内容をHTML形式でご覧いただけます。
http://www.suzuki.co.jp/corporate/csr_environment/
同サイトでは、ESG(環境・社会・ガバナンス)の各項目に沿って情報にアクセスし易いよう、ESGインデックスを整備しています。

対象期間

2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日の事業年度)を中心とし、一部、当該期間以前もしくは以後の活動内容も含まれています。

発行時期

2018年8月
(前回発行時期2017年12月、次回発行予定2019年夏予定)

参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」
GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン(スタンダード版)」等

記載内容

スズキ株式会社の情報だけでなく、国内、海外のスズキグループ会社の情報も含まれています。(文中に「関係会社」「販売店」「海外」等の記述がない場合はスズキ株式会社単独の内容です。)
本レポートに記載されている「国内工場」とは、スズキ株式会社の湖西工場・磐田工場・相良工場・高塚工場・豊川工場・大須賀工場の6工場を意味します。

注意事項

- ・本レポートに記載されているホームページアドレス(URL)は、予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- ・本レポートに記載した予想や計画は、現時点で入手可能な情報及び過程に基づき当社が判断したもので、実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがあり得ますことをご承知おき下さい。

発行者

スズキ株式会社 広報部
〒432-8611 静岡県浜松市南区高塚町300 電話 053-440-2030

トップメッセージ

スズキグループは、「消費者の立場になって価値ある製品を作ろう」を社是の第一に掲げてきました。今後もお客様に喜ばれる真の価値ある製品づくりに努めていきます。「小さなクルマ、大きな未来。」をスローガンに、お客様の求める小さなクルマづくり、地球環境に配慮した製品づくりに邁進します。あらゆる面で「小さく・少なく・軽く・短く・美しく」を徹底し、ムダのない効率的な健全経営に取り組んでいきます。

現在、自動車産業は大変革の時代を迎えています。このような変革期には、現在からの延長線ではなく、長期展望として10年、15年先に目指すべき姿を描き、そこから現在へ遡って今後行うべきことを考え、未来を切り拓くことが必要です。

長期展望に向けた活動のうち、当レポートで紹介するCSRの取り組みについては、様々なステークホルダーの皆様からの注目や期待が高まっているESG(環境・社会・ガバナンス)の観点から、以下の通りさらなる強化を図っています。

気候変動については、これを当社の事業に関連するリスクや機会として明確に認識しています。例えば、排出ガスやCO₂／燃費基準など様々な法規制の強化が進められる中で、これらの規制を遵守するための開発費用の負担増加は当社の業績に大きな影響を与える可能性があります。一方で、当社が得意とする小さなクルマは、生産に必要な材料やエネルギーが少なく、また使用時のCO₂排出量も抑えられることから、そうした技術の開発と普及に強みを持ち、これを継続して高めていくことで、当社は気候変動を大きな機会につなげていくことができます。

そうした観点から、環境については、従来の延長線上の技術だけでなく、新たな技術への取り組みを加速しなければなりません。当社が得意とする小さなクルマづくり、高効率のパワートレイン開発とともに、ハイブリッドの拡大・強化、EVの新規開発にも積極的に取り組んでいきます。2017年に策定した「スズキ環境計画2020」を推進し、環境技術の開発と普及、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

社会的な課題については、まず、品質問題について、最も重要な課題として取り組んでいます。当社グループはお客様の安全・安心を最優先に考え、高品質でお客様に安心してお使いいただける製品の開発・生産とアフターサービスの提供に努めています。お客様に引き続き安心して製品をお使いいただけるように全力を尽くします。

また、ステークホルダーの皆様の期待に応えるよう、地域社会への貢献、人への投資、人材育成、労働安全などに積極的に取り組んでいきます。

ガバナンスについては、公正かつ効率的な企業活動を通じて、ステークホルダーの皆様から信頼され、国際社会の中でさらなる貢献をし、持続的に発展していく企業であり続けたいと考えています。その実現のために、コーポレートガバナンス・コンプライアンス体制を推進し、マネジメント体制、法令遵守への取り組みを強化していきます。

こうしたCSRの取り組みに関する情報を、当レポートなどを通じて分かりやすく開示することを心がけ、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション促進を図っています。さらには、SDGs(国連で採択された「持続可能な開発目標」)という新たな目標についても、その達成に向けて、CSR活動を通じて積極的に取り組んでいきます。

長期展望に立ち、インドを中心とした成長投資の加速が必要になってきている中で、そうした成長のための投資と、環境・社会・ガバナンスの各課題への取り組みによる経営基盤強化とのバランスをとりながら、持続的な企業価値の向上を着実に進めています。

当社の燃費及び排出ガスの抜取検査につきまして、お客さまやお取引先様をはじめ、皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。この事態を深く反省するとともに、今回の事案だけでなく、完成検査業務全般について、社外の専門家により、客観性・中立性を確保した上で、徹底的な調査・検証を行っていただき、再発防止策の構築を図ってまいります。

これからも世界中のお客様に愛され、信頼されるスズキグループを目指して、社会の課題解決に向けて真摯に取り組んでまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

スズキ株式会社 代表取締役社長
鈴木 俊宏

企業理念

経営の基本方針

当社グループは、「消費者（お客様）の立場になって価値ある製品を作ろう」を社是の第一に掲げてきました。今後もお客様に喜ばれる真の価値ある製品づくりに努めてまいります。

「小さなクルマ、大きな未来。」をスローガンに、お客様の求める小さなクルマづくり、地球環境にやさしい製品づくりに邁進いたします。あらゆる面で「小さく・少なく・軽く・短く・美しく」を徹底し、ムダのない効率的な健全経営に取り組んでまいります。

役員及び従業員は、法令、社会規範、社内規則等を遵守し、公正かつ誠実に行動してまいります。

社是

スズキは1962年にスズキグループの会社方針を示す「社是」を制定し、企業の社会的使命を果たすことへの努力目標、自分が所属する会社という組織に対する努力目標、自分自身への努力目標を掲げました。

スズキは「価値ある製品を」をモットーとして、全従業員が価値の創造者となるべく、日々努力を続けています。

社 是

一、消費者の立場になって
価値ある製品を作ろう

二、協力一致清新な会社を
建設しよう

三、自己の向上にいつも常に
意欲的に前進しよう

スズキグループ 社是（1962年制定）

- 一、消費者の立場になって価値ある製品を作ろう
- 二、協力一致清新な会社を建設しよう
- 三、自己の向上につとめ常に意欲的に前進しよう

スズキグループ行動指針

スズキは、2016年4月に、従来のスズキ行動憲章や行動基準等を見直し、新たな行動指針として、スズキグループの役員及び従業員が健全に職務を遂行するための「スズキグループ行動指針」を制定しました。

スズキグループがCSR活動を推進していくためにも重要な指針であり、この行動指針をスズキグループ各社に普及・定着させるため、携帯用冊子の配布や社内ホームページへの掲載、社員研修等を実施しています。

スズキグループ行動指針(抜粋)

お客様のために	(1) 価値ある製品・サービスの実現	スズキグループは、社是の第一に掲げる「消費者の立場になって価値ある製品を作ろう」の精神に則り、お客様の期待を超える製品とサービスを提供します。
	(2) 品質への取り組み	スズキグループは、お客様の安全・安心を最優先に考え、高品質でお客様に安心して使っていただける製品の開発・生産を行い、そのアフターサービスを提供します。 スズキグループは、万が一品質に関わる問題が発生した場合においても、お客様の声に真摯に対応し、問題を早期に把握して、徹底的な原因究明に基づく措置を講じ、お客様が引き続き安心して製品をお使いいただけるように全力を尽くします。
働きやすい 職場環境のために	(3) 人権の尊重	スズキグループは、各国・各地域の法令を踏まえ、人権に関する様々な国際規範を理解し、基本的人権を尊重します。
	(4) 労働安全・交通安全	スズキグループは、職場環境を整備し、安全な職場づくりに努めます。 スズキグループは、労働災害を発生させないための安全教育を徹底します。
	(5) 改善活動の推進と仕事の基本ルール遵守	スズキグループは、社員による職場改善のための創意工夫を奨励します。 社員からの改善提案は、評価して有効なものは採択し、横展開してグループ全体の発展に繋がります。 スズキグループは、仕事の基本ルールを策定し、社員に徹底します。
株主その他すべての ステークホルダーのために	(6) 法令等の遵守(コンプライアンス)	スズキグループは、独占禁止法等の競争関係法令、その他公正な商取引に関する法令、社会規範が国や地域によって異なる可能性があることを認識しつつ、それらを把握した上で、スズキグループの社員がそれぞれの国や地域の法令、社会規範を遵守するよう教育を徹底します。
	(7) 環境活動	スズキグループは、「スズキ地球環境憲章」に則り、美しい地球と豊かな社会を次の世代に引き継いでいくために、一人ひとりの行動が地球の未来を左右する大きな力を持つことを自覚し、地球環境保全に取り組めます。
	(8) 反社会的勢力との関係の遮断	スズキグループは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体との関係は一切遮断することを徹底します。

CSR方針

CSR推進体制

代表取締役及び関係役員等が出席する経営会議において、CSR活動における課題や方針、対策等について議論しています。経営と一体となった、実効性のある活動の推進を目指しています。

CSR活動におけるマテリアリティ(重要課題)の特定

スズキグループのCSR活動におけるマテリアリティ(重要課題)について、経営企画部門(広報、経営管理・IR、コーポレートガバナンス)や環境部門等のCSR主管部門が主体となり、以下の手順で特定作業を行いました。

CSR活動におけるマテリアリティの特定手順

Step 1	GRIガイドラインなどを基に課題を抽出
Step 2	抽出した課題についてCSR主管部門が整理及び議論し、スズキグループにとっての重要性を決定
Step 3	ESG投資家や環境NGOとのミーティングなどを通じて、ステークホルダーにとっての重要性を決定
Step 4	スズキグループにとっての重要性、ステークホルダーにとっての重要性の2軸から、マテリアリティの特定と優先順位を決定
Step 5	中期経営計画の内容との整合性を確認

特定したマテリアリティは以下のマトリックス形式で一覧にまとめました。このマテリアリティに基づいて今後のCSR活動に取り組み、定期的に見直しを行ってまいります。

ステークホルダーにとっての重要性	非常に高い	・労働安全衛生 ・交通安全 ・環境保全 ・人権の尊重 ・サプライチェーン・マネジメント	・品質向上(開発・生産・販売・サービス) ・CO₂排出量の削減 ・環境技術の開発と普及 ・安全技術の開発と普及 ・コーポレートガバナンス・コンプライアンス ・安定した収益成長
	高い	・資源の有効活用 (原材料・エネルギー・水) ・ダイバーシティ ・教育支援 ・地域社会への貢献	・企業価値の向上 ・人財育成 ・安定した労使関係 ・危機管理の強化
		高い	非常に高い
スズキグループにとっての重要性			

SDGsとスズキグループのCSR活動

2015年9月に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」は、社会、経済、環境面において2030年までに取り組むべき17の目標を設定することで問題の解決を図り、より良い国際社会の実現を目指すものです。企業も含めたすべての国と地域、すべての人による行動が求められています。

スズキグループはSDGsを支持し、CSR活動を通じて目標達成に貢献できる項目について、積極的にその責任を果たしてまいります。



SDGs	スズキのCSR活動における関連項目
 あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を増進する	(環 境) 燃費の向上、次世代車両の開発(P.12、13、17、29～36) (社 会) 福祉車両(P.66、67) スズキセーフティサポート(P.68～70) 交通安全の取り組み(P.71、72、75、76)
 すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	(社 会) スズキ財団、スズキ教育文化財団(P.115～117) 教育支援活動(P.91～93) スズキ歴史館(P.94、95) 国内工場、国内代理店、海外グループ会社の取り組み(P.96～114)
 ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う	(社 会) ダイバーシティ、女性活躍推進の取り組み(P.80)
 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	(環 境) 工場排水の浄化(P.55、56、132～143) 工場・オフィスの節水徹底(P.16、53) 環境コミュニケーション活動(P.17、19、21、28) (社 会) 国内工場・国内代理店・海外グループ会社の取り組み(P.96～114)
 すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	(環 境) 次世代車両の開発(電動車・燃料電池車)(P.13、29、30、36) 生産活動におけるCO₂削減活動(P.14、47、48、143) 太陽光発電の増設(P.48)
 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する	(環 境) 次世代車両の開発(電動車・燃料電池車)(P.13、29、30、36) (社 会) お取引先様とともに(P.73、74) 企業価値の向上(P.83、84)
 強靱なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	(環 境) 燃費の向上、次世代車両の開発(P.12、13、17、29～36) (社 会) 教育支援活動(P.91～93)
 包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する	(社 会) 福祉車両(P.66、67) スズキセーフティサポートの商品展開(P.68～70) 交通安全の取り組み(P.71、72、75、76) 国内工場、国内代理店、海外グループ会社の取り組み(P.96～114)
 持続可能な生産消費形態を確保する	(環 境) 大気汚染の抑制(P.14、17、41、42、54、132～143) 3Rの推進(P.15、16、37～40、51、52、58、60～62) グリーン調達(P.17、46) LCAの実施(P.17、31、41)
 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	(環 境) 燃費の向上、次世代車両の開発(P.12、13、17、29～36) 生産活動におけるCO₂削減活動(P.14、47、48、143) 太陽光発電の増設(P.48) 環境教育活動の推進(P.17、20、50)
 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	(環 境) クリーン・アップ・ザ・ワールド・キャンペーン(P.26)
 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	(環 境) 生物多様性ガイドライン(P.17、24、25) 森林保全活動(P.17、26、27)
 持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度を構築する	(社 会) お取引先様とともに(P.73、74) (ガバナンス) コンプライアンスの取り組み(P.123～126)

各ステークホルダーとの関わり

主なステークホルダー	考え方	対話・コミュニケーション方法
お客様	お客様の満足のために 人びとの暮らしに役立ち、心を満たす真の「価値」ある製品づくりのため、時代の足音に耳を傾け、人の心に寄り添いながら、技術と真心をもって挑み続けます。また、迅速で確実、気持ち良い販売・アフターサービス活動を心がけ、お客様の満足のためにベストを尽くします。	・営業活動（販売・アフターサービス） ・お客様相談室 ・お客様イベント ・安全運転講習会の開催 など
お取引先様	共存共栄を目指して 「価値ある製品づくり」のために、お取引先様と対等な立場で相互に協力し、信頼関係を構築するとともに、法令遵守・人権尊重・環境保全についての取り組みを実践し、パートナーとして共に繁栄できる関係を構築します。	・購買方針説明 ・調達活動 ・共同開発 ・マネジメントや実務担当者による意見交換会 など
株主・投資家の皆様	企業価値の向上を目指して 迅速かつ適切、公平な情報開示を推進していくとともに、株主・投資家の皆様との対話に努め、経営基盤の強化と企業価値の向上に取り組めます。	・定時株主総会 ・機関投資家向け説明会 ・個人投資家向けIRイベント ・各種報告書発行 など
従業員	働きやすく、働きがいのある職場づくり 従業員が自己の向上につとめ、常に意欲的に前進することができるよう、次のことに取り組めます。 ①従業員が安全・安心かつ健康に働ける職場づくり ②高い目標に挑戦する人材を評価・支援する体制づくり ③良好で安定した労使関係づくり	・安全衛生委員会 ・相談窓口 ・目標チャレンジ制度 ・自己申告制度 ・社内教育・研修プログラム ・労使協議会 など
地域社会	地域に愛される企業を目指して 積極的な地域社会とのコミュニケーション活動や社会貢献活動により、地域の一員としての責務を果たし、地域社会の発展に貢献します。	・国内外各事業拠点における地域貢献活動 ・教育支援活動 ・スズキ歴史館 など
環境	地球環境保全への取り組み 地球環境保全への取り組みは、経営上の最重要課題であることを認識し、持続的発展が可能な社会の実現に向けて「スズキ地球環境憲章」に基づき、全ての事業活動及び製品における環境保全を推進します。	・環境計画2020の策定・推進・報告 ・各種環境イベントの開催・参加 ・環境教育・講習会 など

人権に関する基本的な考え方

「スズキグループ行動指針」に定めている「人権の尊重」は、すべての企業活動の基本であると考え、CSR活動においてもその徹底を図っています。スズキグループは、人権侵害につながるあらゆる行為に加担する意思はありません。全てのステークホルダーの皆様とともに、人権尊重の取り組みを進めていきます。

（人権に関する取り組み事項）

- あらゆる形態のハラスメント行為の禁止
- 安全・健康な労働環境と良好な労使関係
- 雇用における差別の撤廃
- 児童労働、強制労働の禁止
- 人権侵害の原因となる紛争鉱物の不使用